

新年のごあいさつ



橋本市長
平木 哲朗

新年、明けましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

本年三月一日に市制二十周年を迎えることから、昨年より市民参加型の記念事業を展開しています。中でも市民団体の創意と工夫を生かした市民提案事業は、いずれも地域産業や芸術・文化が体感でき、次のステージへと第一歩を踏み出せる二十周年記念にふさわしい取組みとなりました。また、昨年は、四月から約半年間大阪・関西万博が開催され、本市からも高野口パイルや紀州へら竿などを出展し、国内外に向け橋本市の伝統や文化のPRも行なったところです。

市長就任以来、まもなく十二年を迎えようとしております。この間、市民の皆さまとともに「産業の振興と雇用を創出し定住できるまち」「安全・安心な暮らしを守り支えるまち」「子どもから高齢者までともに育み学び合うまち」をめざし、重点政策を中心に施策を着実に進めてまいりました。

少子高齢化や人口減少、目まぐるしい社会情勢の変化など、市政を運営していくうえでさまざまな課題はありますが、一人ひとりが幸せを実感し、活力のある心豊かな地域社会を実現していきたいと考えています。市民の皆さまとともに、未来の子どもたちの笑顔輝くまちとなるよう挑戦を続けてまいりますので、今後とも市政への一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が市民の皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



橋本市議会議長
田中 博晃

新年、明けましておめでとうございます。

皆さまには、令和八年の新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。さて、昨年開催された大阪・関西万博では、市内の小中学生が制作に携わった「利他の蓮華」が展示され、「利他のこころ」、「いのちの大切さ」を蓮の花が美しく咲くことで表現し、「全ての人が幸せに」という子どもたちの願いを世界に発信することができました。このような普遍的な価値観はこれからの地域社会でも一層重要となり、人々が互いに尊重し、安心して暮らせる環境を築くことが非常に大切であると考えます。こうした中、本年、市議会では「ハラスメント防止条例」の制定に向けた準備を進めます。パワハラやセクハラ、モラハラなど現代社会には多様なハラスメントが存在するとともに、議員や特別職、職員などの立場の違いによるものなど、その形はさまざまです。ひとたび事案が発生した場合、調査や対応に多くの時間や人員が必要となり、本来、市民サービスのために使われるべき資源が損なわれることとなります。そのため、ハラスメントを防止し、迅速かつ適切に対応することは、組織の健全性を保ちつつ、市民サービスの維持・向上を図るうえで不可欠です。市議会としましては、市民の皆さまが安心して行政サービスを受けられること、そして市政に関わる誰もが誇りを持って職務に専念できる環境づくりを目指し、実効性ある条例制定に取り組んでまいります。

本年も、より開かれた議会、より信頼される議会を目指し努力してまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
結びに、皆さま方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

神野々から西を望む